

## Practice in Technology of Nuclear Medicine

1 unit (compulsory) 3rd-year

Hiroshi Maezawa · PROFESSOR / RADIOLOGIC SCIENCE AND ENGINEERING, MAJOR IN RADIOLOGIC SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Masahide Tominaga · ASSISTANT PROFESSOR / RADIOLOGIC TECHNOLOGY, MAJOR IN RADIOLOGIC SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

**Target)** 放射性同位元素安全取扱法およびイン・ビトロ (in vitro) 核医学検査技術について実習を通じて理解する。

**Outline)** 放射性同位元素の安全取扱い法および定量的測定法, 微量ピペティングの操作法, 放射性ヨウ素による標識法, 測定データ処理法およびラジオイムノアッセイによるインビトロ検査法等の実習を行う。

**Keyword)** イン・ビトロ核医学検査, 放射性ヨウ素標識化合物純度, ラジオイムノアッセイ

**Notice)** 実習書をあらかじめ熟読し, 実習内容を理解しておくこと。

**Goal)**

1. 微量ピペティングの手技に習熟する
2. 放射線計数値の統計的取扱に習熟する
3. 標識化合物の純度試験を理解し説明できる
4. ラジオイムノアッセイ法の手技を理解し説明できる
5. 放射性同位元素の安全取扱法に習熟する

**Schedule)**

1. 放射性物質の安全取扱法および実習内容と注意事項の説明
2. 微量ピペティングの操作法 (レポート提出)
3. 放射線測定値の統計的取扱法 (レポート提出)
4. 薄層クロマトグラフィーによる B・F 分離 / 純度試験 (レポート提出)
5. ラジオイムノアッセイによるホルモン量濃度測定 (レポート提出)
6. シンチレーション計測器の特徴 (レポート提出)
7. 実習のまとめ
8. 試験

**Evaluation Criteria)** レポートの内容により評価する

**Textbook)** 配布実習書

**Reference)** 核医学検査技術 (インビトロ編) 高坂唯子他著 通商産業研究社

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217911>

**Contact)**

⇒ Maezawa (+81-88-633-9052, [hmaezawa@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:hmaezawa@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL  
(Office Hour: 月曜日18:00-19:00)